

2010年11月30日

2011年3月期 第2四半期決算説明会

日本山村硝子株式会社

代表取締役社長 山村幸治

目次

- I 2011年3月期 第2四半期決算内容
- II 2011年3月期 業績計画
- III トピックス

I 2011年3月期 第2四半期決算内容

- ◇ 四半期連結損益計算書
- ◇ セグメント情報
- ◇ セグメント別売上高・営業利益構成比
- ◇ 四半期連結貸借対照表
- ◇ 四半期連結C／F計算書

四半期連結損益計算書

単位:百万円(百万円未満切捨)

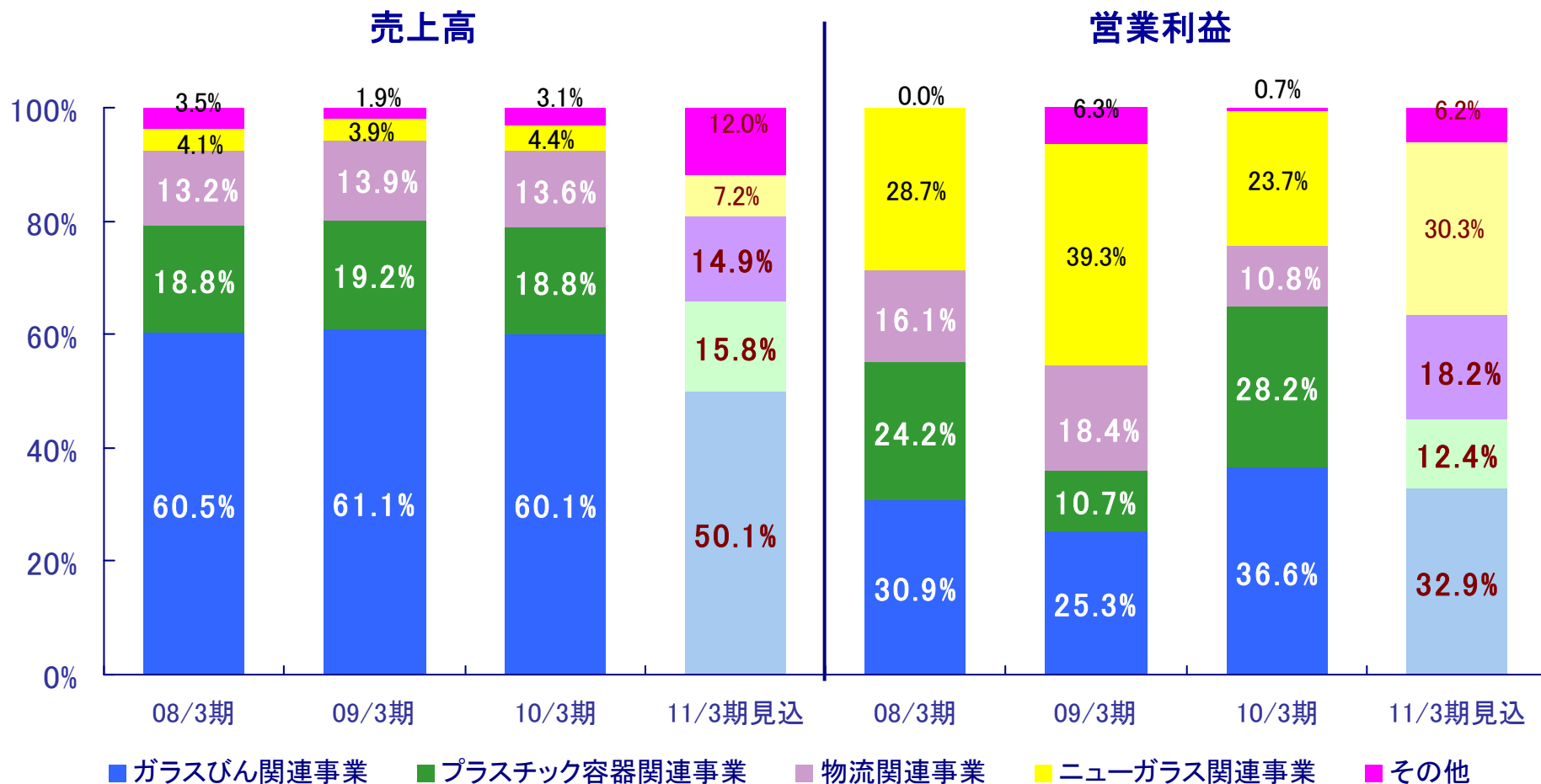
	2009/09	売上高比	2010/09	売上高比	増減額	増減率
売上高	38,647	100.0%	38,390	100.0%	△ 257	△ 0.7%
営業費用	36,273	93.9	36,437	94.9	163	0.5
売上原価	30,423	78.7	30,317	79.0	△ 105	△ 0.3
販売費及び一般管理費	5,850	15.2	6,120	15.9	269	4.6
営業利益	2,373	6.1	1,952	5.1	△ 420	△ 17.7
営業外収益	1,029	2.7	587	1.5	△ 442	△ 43.0
受取利息	2		4			
受取配当金	40		53			
持分法による投資利益	823		410			
その他	164		119			
営業外費用	350	0.9	355	0.9	4	1.4
支払利息	209		190			
その他	140		165			
経常利益	3,053	7.9	2,184	5.7	△ 868	△ 28.4
特別利益	-	0.0	374	1.0	374	-
投資有価証券売却益	-		43			
負ののれん発生益	-		331			
特別損失	39	0.1	18	0.1	△ 20	△ 53.2
固定資産廃棄損	39		18			
税金等調整前四半期純利益	3,014	7.8	2,541	6.6	△ 472	△ 15.7
四半期純利益	2,072	5.4	1,685	4.4	△ 387	△ 18.7

セグメント情報

事業	決算期	売上高	営業利益	営業利益率	概況
		(百万円)	(百万円)	(%)	
ガラスびん 関連事業	2010/09	19,067	647	3.4%	食料・調味料びんやウイスキー等の洋酒びんの出荷量が増加した。しかし、前年に比べ高値で推移した原燃料価格が収益を押し下げる要因となった。
	2009/09	22,717	1,063	4.7%	
	増減率	-	-	-	
プラスチック 容器関連事業	2010/09	7,266	757	10.4%	猛暑効果もあり、飲料用キャップは堅調に推移したが、ペットボトルは内製化の影響を補うまでには至らなかった。また、前年に比べ原燃料価格が上昇し、収益を圧迫した。
	2009/09	8,025	713	8.9%	
	増減率	-	-	-	
物流関連事業	2010/09	5,338	371	7.0%	既存営業所を閉所する一方で、新規顧客の開拓に注力した。また、損益面では不採算部署の改善を行った。
	2009/09	5,170	231	4.5%	
	増減率	-	-	-	
ニューガラス 関連事業	2010/09	2,394	290	12.2%	プラズマテレビ用の粉末ガラスが堅調に推移したほか、太陽電池用粉末ガラスが伸長した。また、ニューガラス事業の多角化として、山村フォトニクス(株)を子会社化した。
	2009/09	1,519	376	24.8%	
	増減率	-	-	-	
その他	2010/09	4,323	59	1.4%	
	2009/09	1,214	△ 11	-	
	増減率	-	-	-	

(注) 当期よりセグメント区分を変更したため増減率は記載していません。

セグメント別売上高・営業利益構成比



(注) 当期よりセグメント区分を変更しております。

四半期連結貸借対照表(資産の部)

単位:百万円(百万円未満切捨)

	2010/3末	2010/9末	増減額
流動資産	40,691	41,195	503
現金及び預金	12,651	9,770	△ 2,880
受取手形及び売掛金	19,182	23,021	3,839
商品及び製品	5,748	4,997	△ 750
仕掛品	303	356	52
原材料及び貯蔵品	1,702	1,948	246
その他	1,140	1,137	△ 2
貸倒引当金	△ 37	△ 36	0
固定資産	55,815	55,479	△ 336
有形固定資産	32,555	33,014	458
無形固定資産	377	390	12
投資その他の資産	22,882	22,075	△ 807
投資有価証券	3,137	2,648	△ 488
関係会社株式	15,520	14,728	△ 792
その他	4,296	4,768	471
貸倒引当金	△ 71	△ 69	1
資産合計	96,507	96,674	167

四半期連結貸借対照表(負債・純資産の部)

単位:百万円(百万円未満切捨)

	2010/3末	2010/9末	増減額
流動負債	19,297	20,308	1,010
支払手形及び買掛金	7,560	8,171	611
短期借入金	5,726	6,643	917
その他	6,011	5,493	△ 517
固定負債	25,619	24,992	△ 626
長期借入金	17,680	16,280	△ 1,400
退職給付引当金	3,264	3,772	508
特別修繕引当金	4,164	4,487	323
その他	510	452	△ 58
負債合計	44,917	45,301	383
資本金	14,074	14,074	-
資本剰余金	17,300	17,300	-
利益剰余金	25,216	25,778	562
自己株式	△ 1,213	△ 1,214	△ 1
その他有価証券評価差額金	218	19	△ 199
繰延ヘッジ損益	-	△ 5	△ 5
為替換算調整勘定	△ 4,049	△ 4,622	△ 572
少数株主持分	42	42	0
純資産合計	51,589	51,373	△ 216
負債及び純資産合計	96,507	96,674	167

四半期連結C/F計算書(要約)

単位:百万円(百万円未満切捨)

	2009/09	2010/09	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	4,033	563	△3,469
投資活動によるキャッシュフロー	△2,532	△2,448	84
財務活動によるキャッシュフロー	△901	△990	△89
現金及び現金同等物の減少額	598	△2,880	△3,479
現金及び現金同等物の期首残高	8,202	12,651	4,449
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,801	9,770	969

2009/09主な項目

- ◇ 営業活動キャッシュフロー (4,033)
税引前利益(3,014)、減価償却費(2,490)
売上債権増加(△3,119)、棚卸資産減少(1,802)
- ◇ 投資活動キャッシュフロー (△2,532)
 - ① 有形固定資産の取得支出 (△1,946)
ガラス・プラスチックなどの生産設備更新、
新社屋建設
 - ② 関係会社出資金の払込支出 (△576)
展誠(蘇州)塑料製品有限公司への出資金
- ◇ 財務活動キャッシュフロー (△901)
 - ① 借入金返済 (△502)
 - ② 配当金支払 (△315)

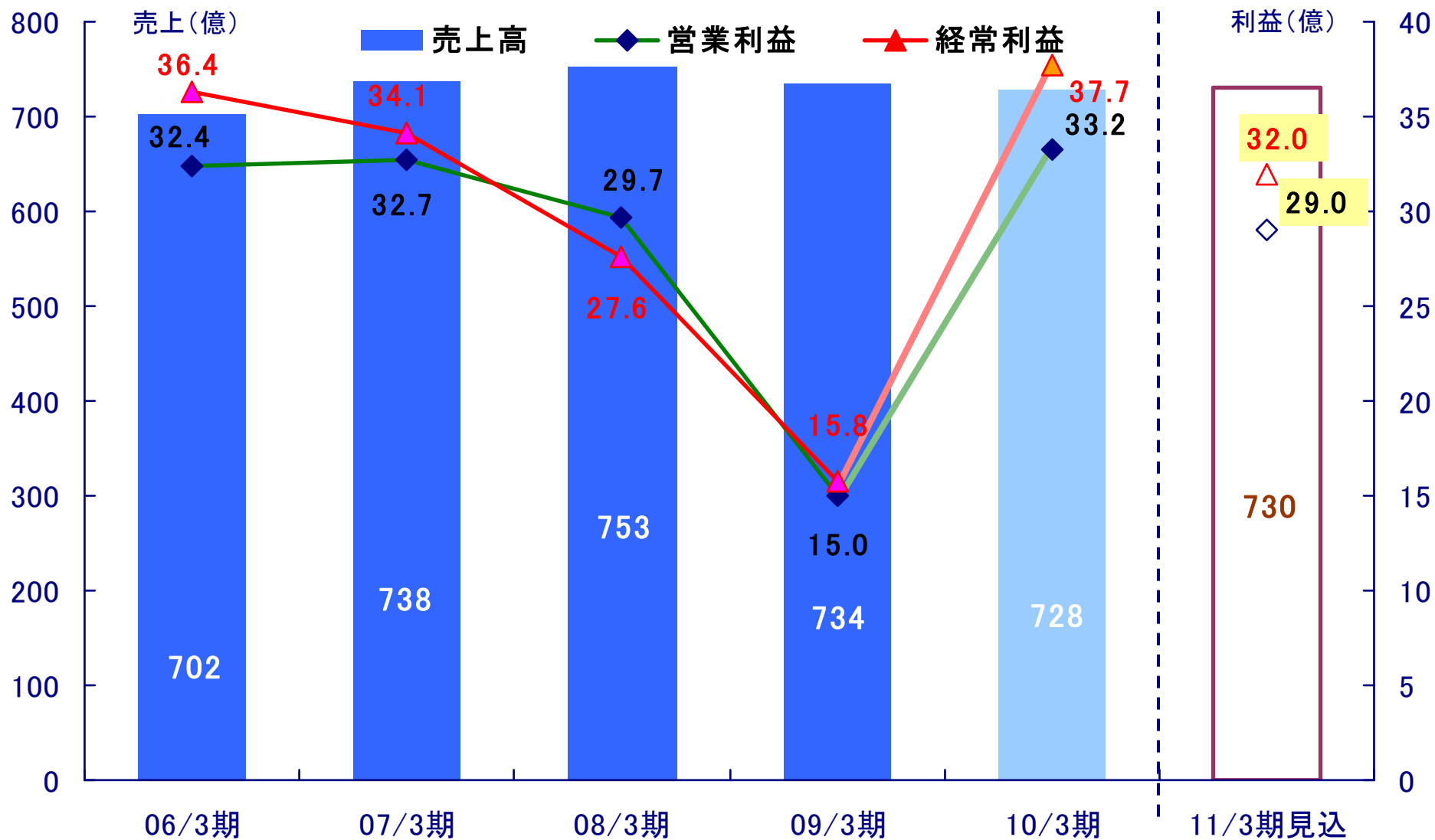
2010/09主な項目

- ◇ 営業活動キャッシュフロー (563)
税引前利益(2,541)、減価償却費(2,292)
売上債権増加(△3,110)、法人税等の支払(△1,194)
- ◇ 投資活動キャッシュフロー (△2,448)
 - ① 有形固定資産の取得支出 (△1,394)
ガラス・プラスチック・ニューガラスなどの生産設備更新
 - ② 子会社株式の取得支出 (△603)
山村フォトニクス(株)子会社化
- ◇ 財務活動キャッシュフロー (△990)
 - ① 借入金返済 (△483)
 - ② 配当金支払 (△420)

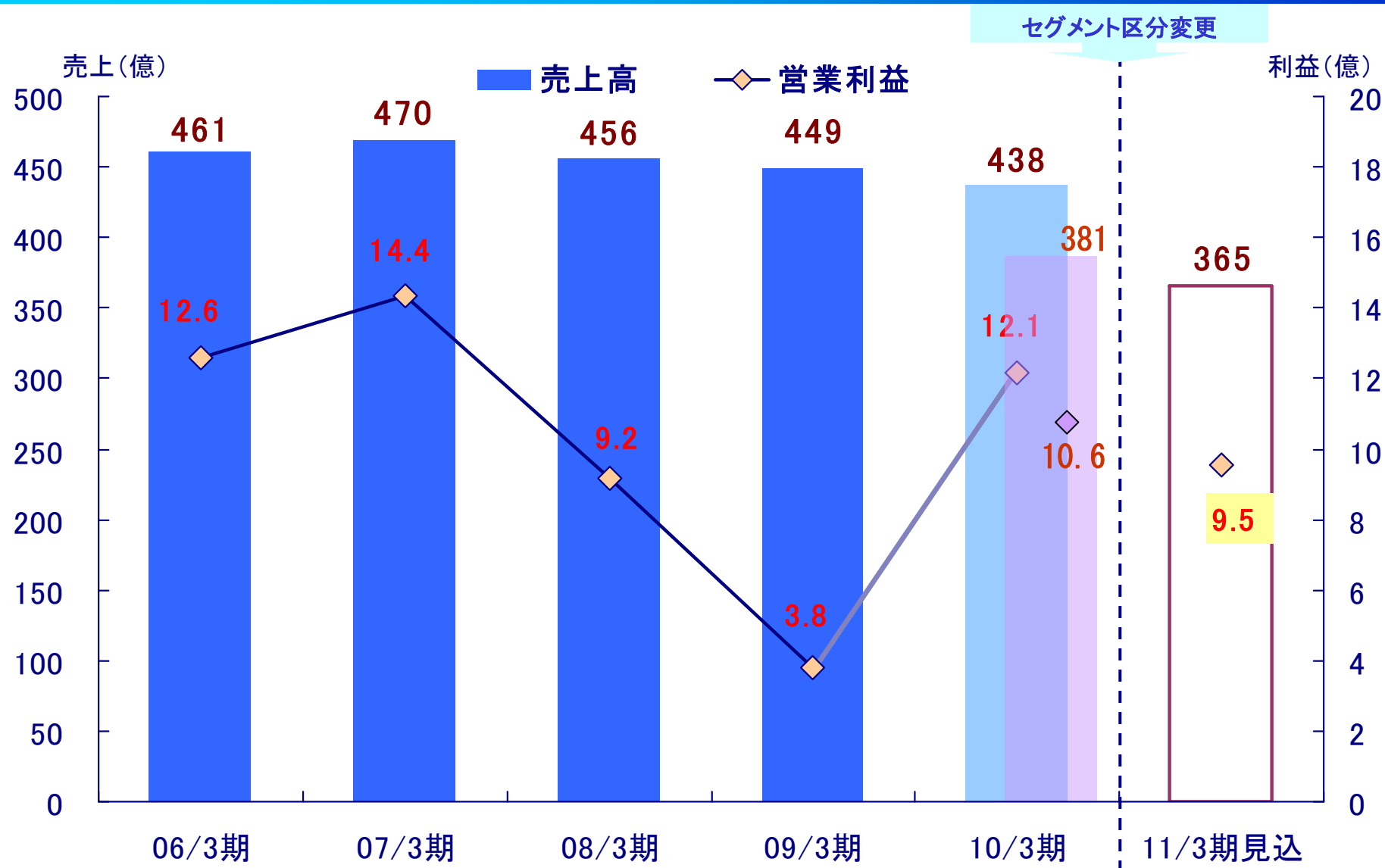
Ⅱ 2011年3月期 業績計画

- ◇ 連結及びセグメント別業績推移
- ◇ セグメント別業績予想（新セグメント基準適用）

連結業績推移

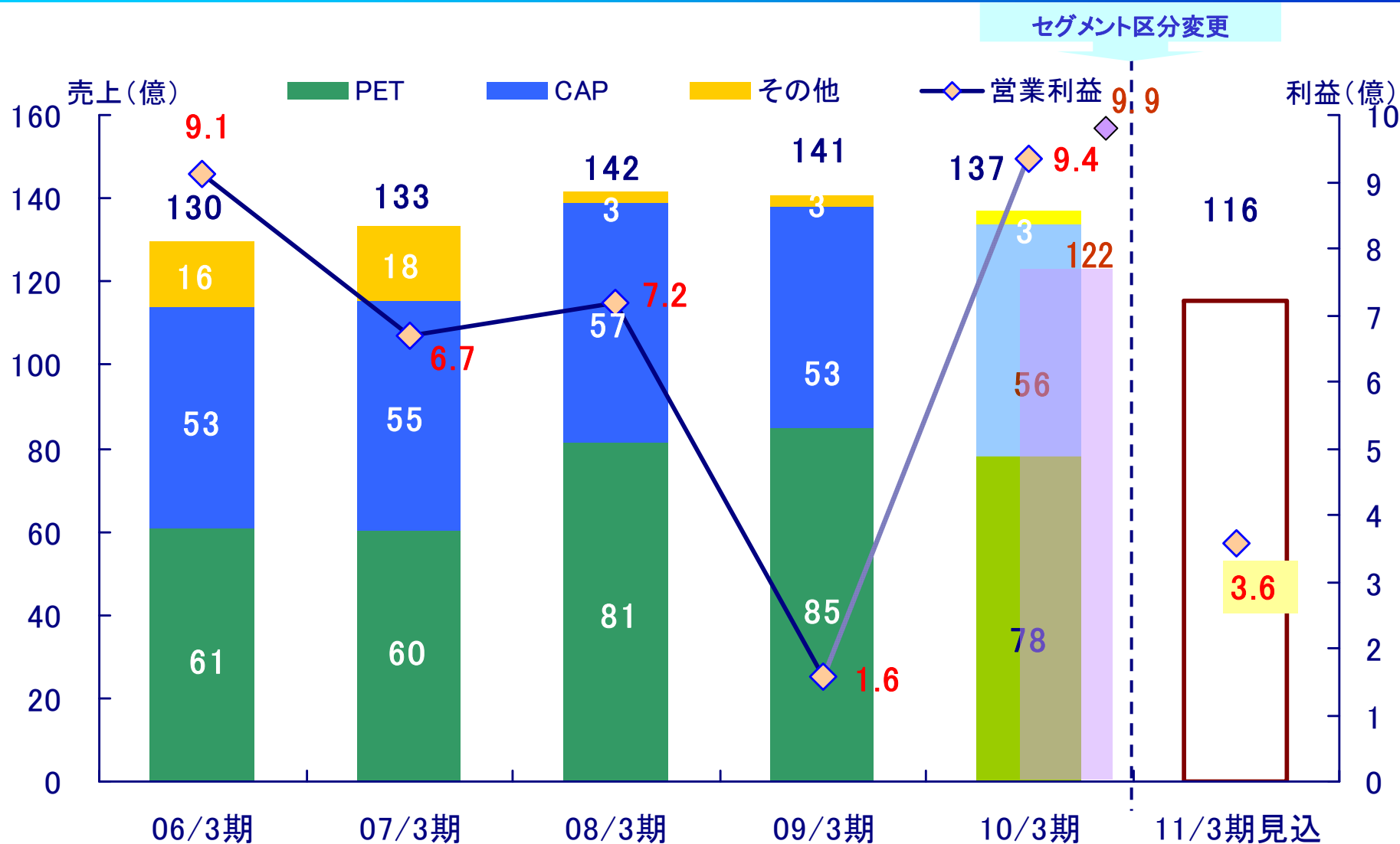


業績推移ーガラスびん関連事業



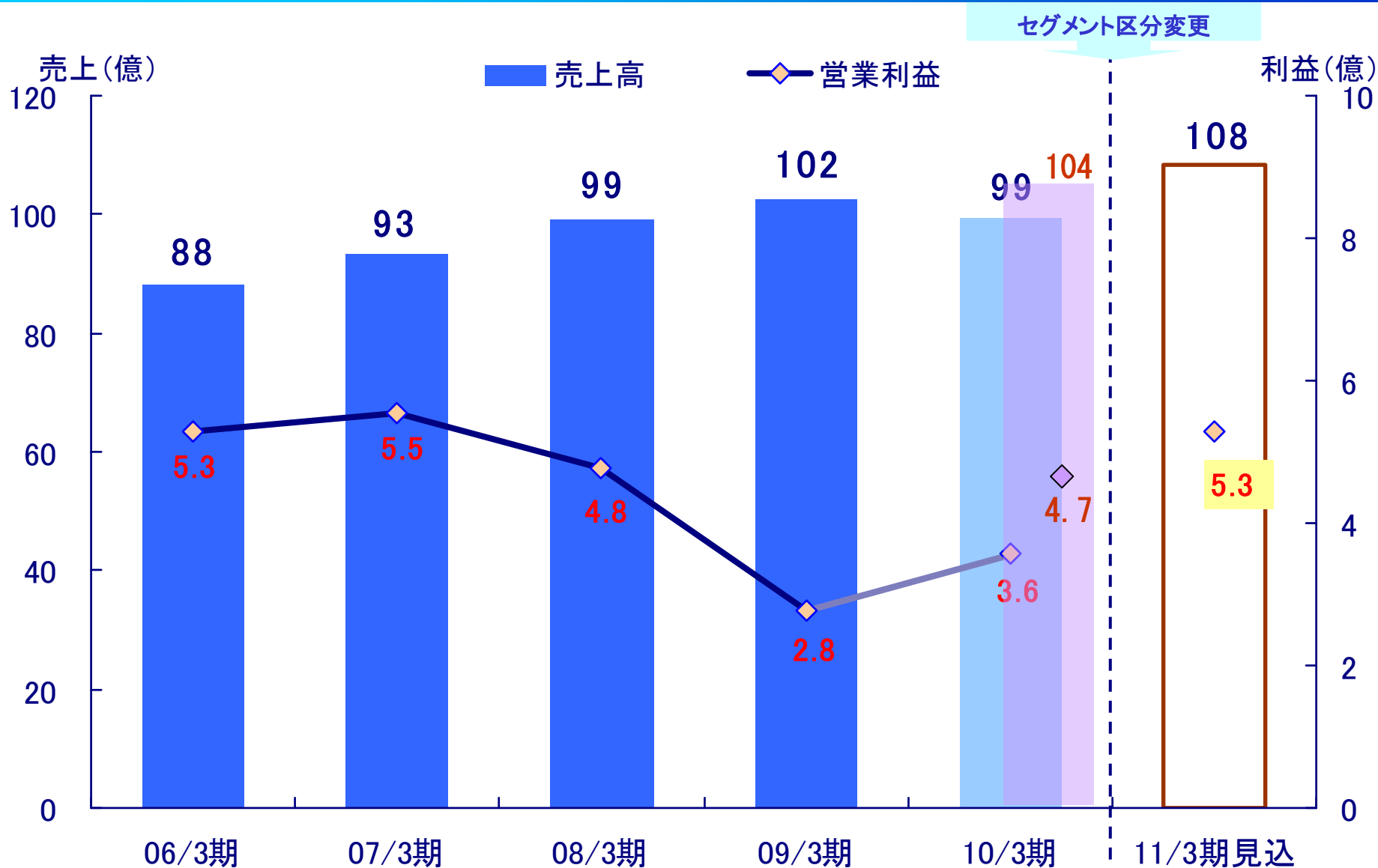
※新セグメントで遡及計算したもの

業績推移ープラスチック容器関連事業

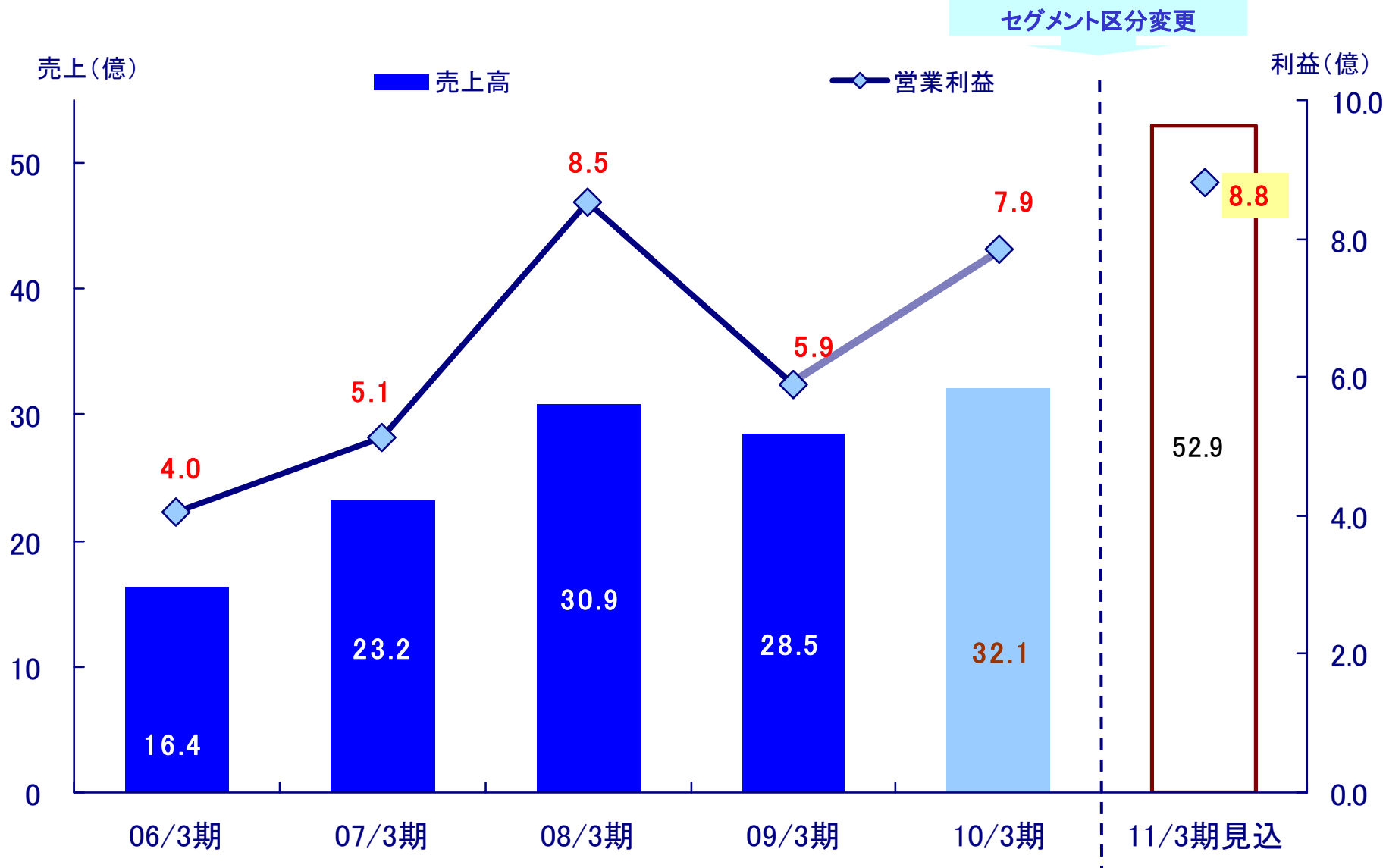


※新セグメントで遡及計算したもの

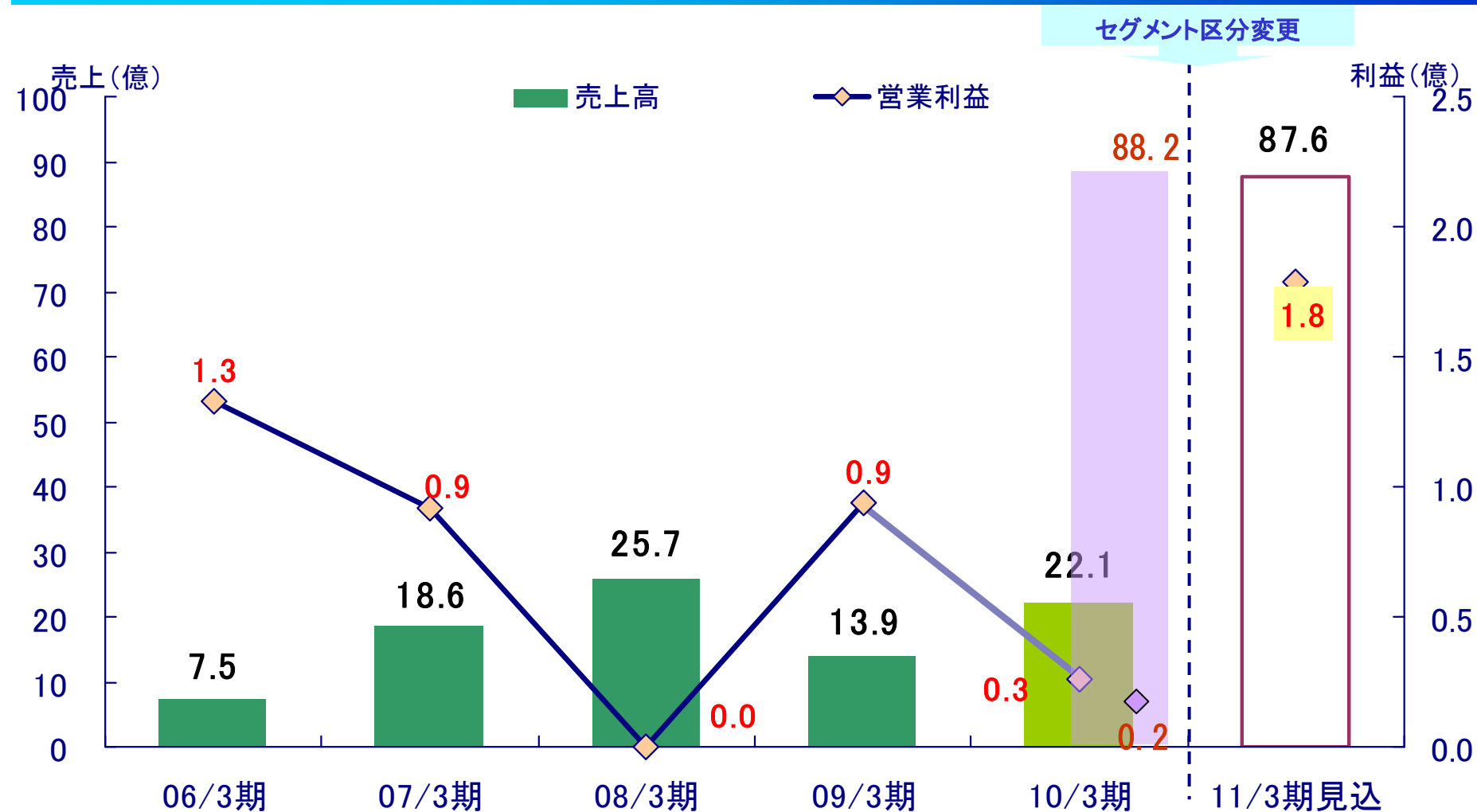
業績推移—物流関連事業



業績推移ーニューガラス関連事業



業績推移—その他



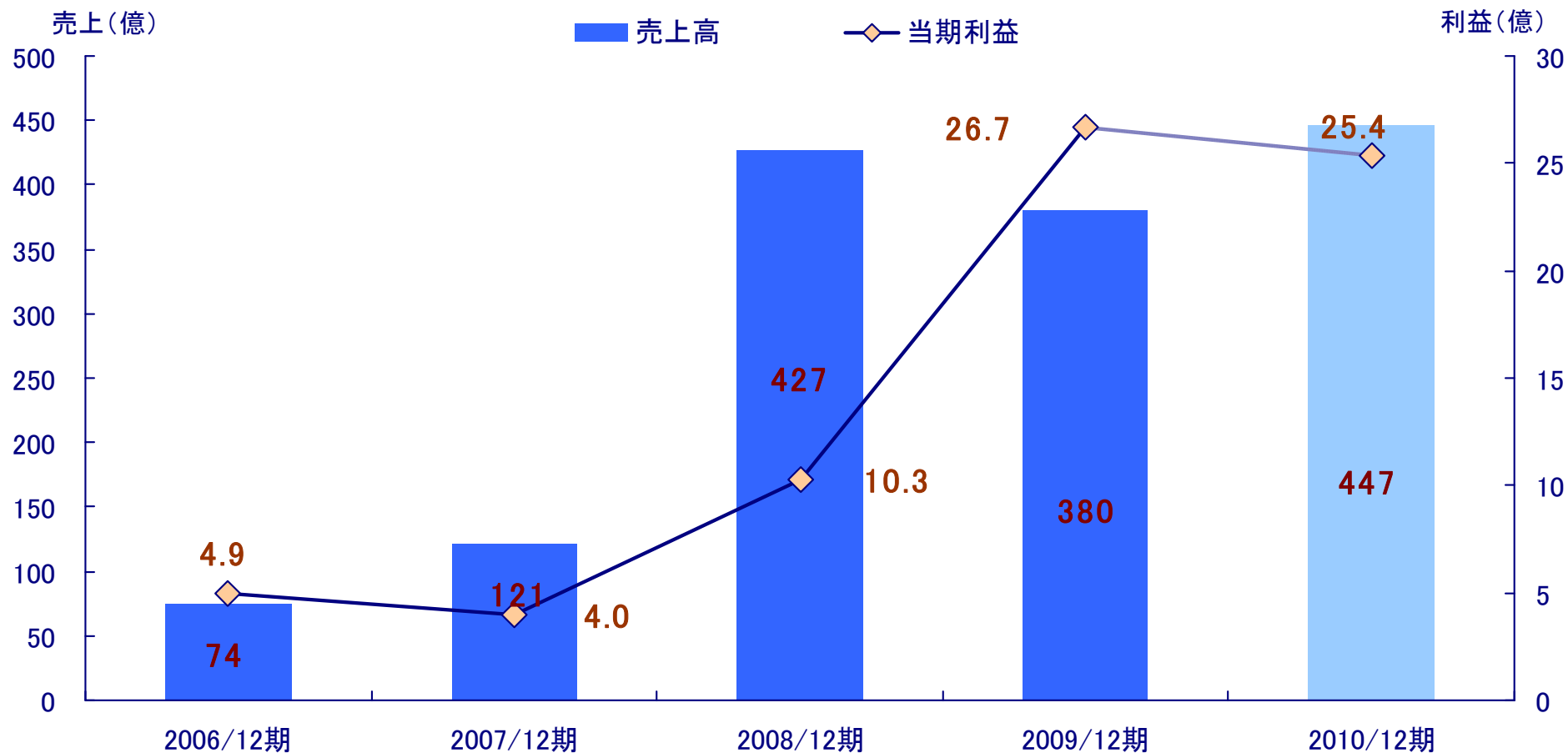
※新セグメントで遡及計算したものの

2011年3月期 セグメント別業績予想

セグメント	決算期	売上高	セグメント利益	利益率
		(百万円)	(百万円)	(%)
ガラスびん 関連事業	11/3期	36,549	953	2.6%
	※ 10/3期	38,087	1,059	2.8%
	増減率	96.0%	90.0%	
プラスチック 容器関連事業	11/3期	11,554	359	3.1%
	※ 10/3期	12,223	987	8.1%
	増減率	94.5%	36.4%	
物流関連事業	11/3期	10,849	529	4.9%
	※ 10/3期	10,435	471	4.5%
	増減率	104.0%	112.3%	
ニューガラス 関連事業	11/3期	5,291	880	16.6%
	※ 10/3期	3,217	787	24.5%
	増減率	164.5%	111.8%	
その他	11/3期	8,757	179	2.0%
	※ 10/3期	8,822	18	0.2%
	増減率	99.3%	994.4%	
合計	11/3期	73,000	2,900	4.0%
	※ 10/3期	72,784	3,322	4.6%
	増減率	100.3%	87.3%	

※ 10/3月期は、新セグメント基準を遡及適用した数値

ご参考：海外関係会社の業績推移



注) 当社の利益は持株比率となります。

Ⅲ トピックス

- ◇山村フォトニクス株式会社の発足
- ◇「チャイナグラス2010」へ出展
- ◇「グラステック2010」へ出展
- ◇「東京パック2010」へ出展
- ◇IPGR会議を開催
- ◇AFGM国際会議に参加

Ⅲ トピックス

山村フォトニクス株式会社の発足

日本電気株式会社より、日本電気真空硝子株式会社の株式全数を譲り受け、7月1日より山村フォトニクス株式会社として発足しました。

エレクトロニクス分野など優れたガラス加工技術を有する同社が山村グループの一員となったことで、当社ニューガラスカンパニーとのシナジー効果を発揮し、ニューガラス事業領域の更なる成長を目指してまいります。

名 称 : 山村フォトニクス株式会社
本店所在地 : 神奈川県横浜市都筑区
事業内容 : 電気・電子機器用ガラス部品の製造販売
設立年月日 : 1949年3月14日



Ⅲ トピックス

「チャイナグラス2010」へ出展

ガラスびんカンパニー・エンジニアリングカンパニー・山硝が出展しました。

上海樋口製1セクション製壘機、超々軽量びん、カラーフィーダーびん、加飾びんなどの現物展示をはじめ、周辺機器や排ガス処理などの環境技術を紹介し、製壘技術のみならず周辺機器の開発を含めた総合力をアピールしました。



◆名称 チャイナグラス2010（国際ガラス展示会）

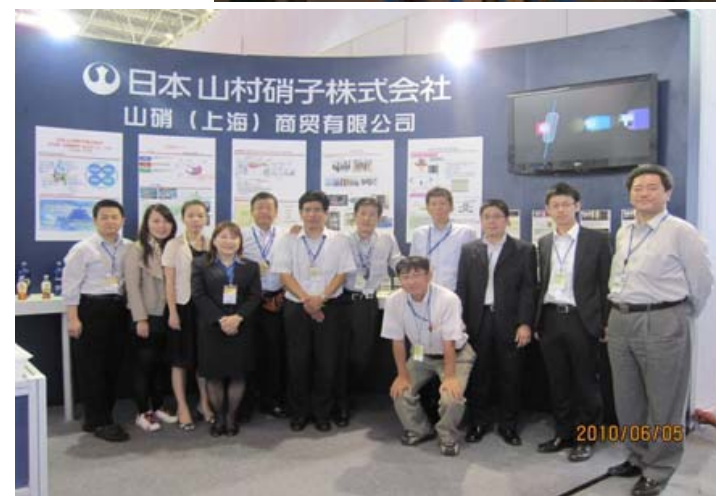
◆会期 2010年6月4日～7日

◆会場 中国・北京

◆当社ブースには200組以上が来場

出展者数：836社

入場者数：43,277名



Ⅲ トピックス

「グラステック2010」へ出展

ガラスびんカンパニー・エンジニアリングカンパニー・国際部、
またエンジニアリングカンパニーの中国ビジネスパートナーである上海樋口マシナリー社が出展しました。

当社ブースには多くのお客様が訪れ、超々軽量びんやマイクロコートなどの技術に関心が集まりました。



- ◆名 称 グラステック2010
 - ◆内 容 世界最大のガラス展示会
 - ◆会 期 2010年9月28日～10月1日
 - ◆会 場 ドイツ・デュッセルドルフ
 - ◆当社ブースには146組（約400名）が来場
- 出展者数：1,274社
入場者数：約55,000名

Ⅲ トピックス

「東京パック2010」へ出展

アジア最大級の包装・パッケージ総合展「2010東京国際包装展(TOKYO PACK 2010)」へ出展しました。

当社ブースでは、ガラスびんをはじめとした国内事業の展示に加え、海外事業の紹介も同時に展示。国内外の多くのお客様にお立ち寄りいただきました。

- ◆名 称 東京パック2010
- ◆テーマ 成長のヒントは、包装にある。
- ◆会 期 2010年10月5～8日
- ◆会 場 東京ビッグサイト
- ◆主 催 社団法人日本包装技術協会
- ◆当社ブースには約750名が来場

出展者数：521社（551団体）

入場者数：170,859名



Ⅲ トピックス

IPGR会議を開催

10月18～19日の2日間、当社主催のIPGRエグゼクティブ会議を東京で開催。

IPGR(International Partners in Glass Research)は、国際ガラス研究開発のパートナーシップで、当社は1984年の設立時から参画しています。

参加メンバーは、Emhart Glass社(スイス)、Gallo Glass社(アメリカ)、Sisecam社(トルコ)、Vetropack社(スイス)、Vidrala社(スペイン)、Wiegand glass社(ドイツ)、そして当社。
来年、Fevisa社(メキシコ)が加入予定。



2010.10.18 エグゼクティブ集合写真

Ⅲ トピックス

AFGM国際会議に参加

10月19～23日、フィリピンのボラカイ島にて、東南アジアのガラス関連企業で作る ASEAN Federation of Glass Manufacturers (AFGM) 国際会議が開催されました。

技術発表会では、当社より3Rへの取りくみを主に環境技術、環境配慮に向けた企業としての姿勢について発表しました。
(発表内容:超軽量、軽量リターナブル技術やカレット使用率のアップに関する研究)



世界のYAMAMURAへ

—心と技術を伝えたい—



この絵「Vision Art (ビジョンアート)」は、山村グループ経営幹部全員の「世界のYAMAMURAへ」に対する想いをアーティストに描いてもらったものです。
山村グループが、創業以来育んできた「心と技術を通じ社会に貢献する」精神を大切に、世界に誇れる「YAMAMURA」ブランドを確立したい、その意志を1枚の絵で表現しています。
皆さんはこの絵から、何を感じますか？

 日本山村硝子株式会社

ご清聴

ありがとうございました。

 **日本山村硝子株式会社**

[http:// www.yamamura.co.jp/](http://www.yamamura.co.jp/)

お問い合わせ先：コーポレート本部広報部長 堤

Tel (03)3349-7219 (ダイヤルイン)

Fax (03)3348-2349

E-mail: tsutsumi_k@yamamura.co.jp